

北辰会総会の看板を書かせていただいて

29期 竹本治男（大鶴）

総会の3日前、前田事務局長より「総会の看板を書いてほしい」との電話を受けました。少しでもお役にたちたいと思って「よし書こう！」と決め模造紙を買い、揮毫に取りかかりました。

最初は美しく楷書で書いてみましたが満足できません。青春の故郷である母校の校門前や多目的ホールの舞台に貼られる看板。うれしくて気合が入ってきました。気韻生動（風格気品があり躍動するという意味）に表現したいなあと思って書いたものの不作でした。

しかし役員方や同級生達から褒めていただき大役が果たせたと思います。生涯の思い出になりました。



